

岐阜県立岐阜盲学校

通級指導教室（弱視）

見やすい環境で、学びやすくしませんか

視力が低いと、学習の成果が十分に上がらないことがあります。

メガネをかけても視力が低いお子さんには、視覚補助具、使いやすい文具など見え方に合わせた適切な配慮をして、見やすい環境を整えることで、学びやすくなります。

弱視レンズや視覚補助具を上手に使うことで、黒板の文字を書き写したり、目盛りや地図などの細かいものを見たりすることができるようになります。

通級指導教室（弱視）では、

- ・見え方に合わせた学習器具の使い方を身に付ける学習
- ・体育の授業だけでは分かりにくい体の動かし方等の学習
- ・自分の見え方について理解し、相手に自分の見え方や援助してほしいことを伝える学習等
盲学校の教員と一緒にいきます。

岐阜県立岐阜盲学校

〒500-8807 岐阜市北野町70番地1

TEL 058-262-1271

FAX 058-262-2854

<https://school.gifu-net.ed.jp/gifumou-s/>



岐阜盲学校イメージキャラクター

「あいぼんだ」

<通級による指導（弱視）>

見えにくさによる学習上又は生活上の困難を改善し、又は克服することを目的とした「自立活動」に相当する指導を行います。

<対象となるお子さん>

小中義務教育学校に在籍しているお子さんで、弱視による学習上又は生活上の困難の改善・克服とする指導が必要とされる児童生徒です。

弱視：拡大鏡の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が困難な程度の者で、通常の学級での学習に概ね参加でき、一部特別な指導を必要とするもの（文部科学省）

<入級について>

通級指導教室の入級は、見え方の相談支援センター<次項参照>での教育相談が必要となります。在籍校の担任または特別支援教育コーディネーターにご相談ください。在籍校から見え方の相談支援センターに電話等で依頼してください。その後、学校間で日程や内容について調整を行います。

<指導の形態>

岐阜盲学校の通級担当教員が、小中義務教育学校に出向いて指導する「巡回による指導（自校通級）」と、児童生徒が盲学校に出向いて通級による指導を受ける「他校通級」という形態があります。

指導体制や指導回数、指導日は、見え方に関わる課題と在籍校の授業のバランスを考慮して決定します。指導にあたっては「個別の指導計画」を作成し、個々の教育的ニーズに合わせた指導を行います。

<学習内容>

「自立活動」という授業名で、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服することを目的とした学習が主な内容となります。単眼鏡やルーペ等の道具を上手に使うことで、黒板の文字を書き写したり、目盛りや国語辞典、地図など細かい物を見たりすることができるようになります。そのために、見え方に合わせた視覚補助具の使い方を身に付ける学習をします。他にも「自分の見え方をどのように伝えたら友だちは分かってくれるのかな?」「困っているときに何て言えばいいのかな?」と悩んだり困ったりしたことがある人は、周囲の人たちとの関わり方についても学習します。

<学習内容の具体例の一例>

○視覚補助具を使用して学習をサポートします。

- ・単眼鏡（黒板の字を読む、書き写す、遠くのものを見る）
- ・ルーペ（国語辞典、地図帳、グラフ、植物など手元の小さなものを見る）
- ・拡大読書器（定規の目盛りや植物などを拡大して見る）

○ICT 機器を活用して、視覚的な情報を拡大表示したり、音声で情報を取得したりする支援をします。

- ・タブレット端末（板書を撮影して見る、「拡大鏡」、PDF 版拡大図書、漢字筆順などのアプリの活用）
- ・パソコン（タッチタイピング、見やすい画面設定、ショートカットキー操作）

○各教科の内容の中で、視覚的な情報収集や処理の方法を支援します。(例)

- ・国語：見やすい文字の大きさ、コントラストを使用して、漢字や文章の読み書きを支援します。
- ・算数、数学：見やすい目盛りの定規、分度器や触覚教材を使用して、計算や図形の理解を支援します。
- ・理科：実験器具の触覚モデルや拡大鏡を使用して、実験の手順や結果の理解を支援します。
- ・社会：見やすい大きさ、色、情報量の地図やグラフを使用して、グラフや表、地図の読み取りの学習を支援します。

○生活の支援をします。

- ・日常生活動作：自立した生活を送るための基本的な動作（例：食事、着替え）の支援をします。
- ・歩行指導：安全に一人で歩くための歩行に関する学習を行います。

○社会性の育成を支援します。

- ・コミュニケーションスキル：他者との円滑なコミュニケーションを図るためのスキルを身に付ける支援をします。
- ・自己表現：自分の意見や感情を適切に表現する方法が身につくように支援します。
- ・自己の障がいについて理解し、相手に自分の見え方や援助してほしいことを伝える学習を行います。

<保護者との連携>

通級指導教室では保護者への相談を行っています。保護者に対し、見え方や視覚補助具、合理的配慮、進路などの相談支援や視覚支援に関わる情報提供を行います。

<在籍校との連携>

通級による指導は、在籍校と連携・協力をして行います。在籍校での学習や生活の様子について担任から情報を得ながら、協力して指導する必要があります。在籍校の様子を参観して環境の配慮点を情報提供します。また、在籍校での学習や生活の様子、学習内容を確認しながら、指導内容を検討して支援を行います。



<見え方の相談支援センター>

岐阜盲学校では、見えにくい方や全盲の方の相談支援を行っています。
希望の方は、見え方の相談支援センターへお問い合わせください。

電話 058-262-1271 (受付時間：平日 9:00~17:00)

- ・アイアイ教室
- ・教育支援相談
- ・情報提供
- ・弱視通級
- ・支援訪問
- ・目に関する相談会
- ・理解・啓発活動

